

水稲生産情報



JA つがる弘前
弘前中央地区営農係

今後、気温は高く推移する見込みです。出芽を揃え、苗の徒長を防ぐためにも
水・温度管理など各作業をしっかり行い、丈夫な苗を育てましょう！

作業スケジュール（5月20日定植の場合）

● 浸 種（3月31日～4月14日頃）



- 水の取り換えは3日目から3日おきに行いましょう。
水を交換する時は、籾袋の上下を入れ替え、温度ムラをなくしましょう。
- 水温は10℃以上を保つよう保温に努めましょう。
積算温度100℃以上が目安です。（10～15日程度）
※直射日光が当たらない所で浸漬を行いましょう。



上下を入れ替え、
温度ムラを無くそう！

● 催 芽（4月14日頃）



- 催芽を行う際は30～32℃で16～20時間を目安に行いましょう。
※40℃を超えると発芽能力が低下します。
- 催芽完了の目安はハト胸程度に膨らんだ状態です。（右図参照）
※伸ばし過ぎると芽や根が折れやすくなるので注意しましょう。



理想のハト胸状態

● 播 種（4月15日頃）



- 播種量は催芽籾120g程度を目安にしましょう。
厚播きは徒長した軟弱苗ができやすく、田植え後の代枯発生
や活着不良を助長させるので止めましょう。
- 覆土は5mm程度の厚さにしましょう。



播種量

適量 120g

厚播き 180g

● 床土づくり（播種前まで）

	サイコー11号（肥料）	ナエファイン粉剤	ナエファインフロアブル
山土	20g/箱 （5kgで250枚分）	8g/箱 （3kgで375枚分）	播種時灌注 2,000倍（1ℓ/箱） 緑化期 1,000倍（500cc/箱）
人工 培土	肥料分が入っているため不要 ※無肥料培土の場合は山土と同様	6g/箱 （3kgで500枚分）	

【豆知識】：シルバーポリトウは高温に注意！

シルバーポリトウは、昼間は
地温が上がりすぎるのを抑制し、
夜間は保温してくれます。しか
し、晴天時ハウス内があまりに
高温だとシート自体からも放熱
し、苗箱の土も高温になり高温。
障害につながります。よって、
ハウスが高温時はこまめに喚起
を行い高温障害を防ぎましょう！



育苗スケジュール 温度・水管理には十分注意しましょう。

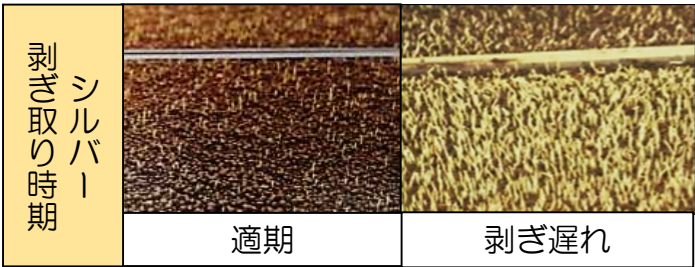
● 出芽期（4月15～20日） 日中35℃・夜間10℃

<ハウス育苗>

- シルバーポリトウ等の被覆資材は出芽揃いを確認後、取り除きましょう。
被覆資材の剥ぎ遅れは、徒長苗、病害の原因となります。

<折衷苗代>

- 置床は耳たぶ程度の硬さにしましょう。柔らかすぎると過湿となり出芽不良の原因となります。
※ハウス、苗代の内部が高温になる場合は、出芽前でも換気を行いましょう。
※シルバー剥ぎ取り後、ハウスの裾など出芽が遅れているところには夜間のみシルバー等をかけ保温しましょう。



剥ぎ
取り
時期

適期

剥ぎ遅れ

● 出芽～1.5葉（4月21～28日） 日中30℃・夜間5℃

- 苗立枯れ病が発生した場合、ナエファインフロアブル1,000倍液を
1箱あたり500cc灌注しましょう。
※過湿や極端な高温、低温環境だと苗立枯れ病が発生しやすいので、水
・温度管理はこまめに行いましょう。



特に過湿に注意しよう！

● 1.5～3.0葉（4月29日～5月12日） 日中25℃・夜間5℃

・ 灌 水

<ハウス育苗>：苗の葉が巻き始めた頃、朝方にたっぷり行いましょう。

<折衷苗代>：基本は踏切溝の湛水で管理しましょう。床面が乾燥した場合は箱底面
まで湛水し、すぐ水を切りましょう。

・ 追 肥

：葉色が薄くなった場合、1箱あたり硫酸5gを水500ccに溶かし
灌注しましょう。追肥は灌水前に行い、追肥後は葉焼けを防ぐため
水洗いを行いましょう。

【苗づくりの目標】

- 根は太く白い。
- 根数が多い。
- 腰が低く茎が太い。
- 養分を十分含み、
活着が良い。
- 苗揃い良く、
病害虫被害がない。

